

防災力を高めよう

これから、梅雨に入ってくると、大雨や長雨が降り、いつ自分の地域で災害が起こるかわかりません。災害から生命と財産を守るには、いかに防災力を高めておくかが重要です。この機会に防災意識を高めておきましょう。

危機管理課危機管理係 ☎0824・73・1206

「防災マップ」と「防災マニュアル」の活用を



市は、住民の皆さんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「庄原市防災マップ」および「庄原市防災マニュアル」を作成しました。

災害から身を守るためには、住んでいる地域の危険箇所や避難路、避難場所などを事前に把握し、早めに避難することが重要です。

「庄原市防災マップ」とは？

この防災マップとマニュアルを活用し、家庭や地域の人たちと防災について話し合っておきましょう。

配布は6月下旬頃を予定しています。

「防災マニュアル」とは？

防災マニュアルには、大雨・洪水、地震、土砂災害の発生メカニズムや避難情報、災害への備えなどを掲載しています。いざという時のためにマップとあわせてご活用ください。



防災マップは安全を保障するものではありません

防災マップに示している被害想定区域は、一定の条件の下で想定したものを表示していますので、浸水想定区域や土砂災害警戒区域でないところでも、災害が発生する可能性があります。区域から外れていても安心せず、普段から災害に対する備えを充実し、災害が発生したときに、被害を最小限に抑えるために、このマップを活用してください。

防災マップを活用してみよう

1

避難する場所、避難経路を確認！

自分が避難する場所はどこか、その場所に行くまでの避難経路に危険な箇所はないか確認し、地図上で避難路を検討しましょう。



2

検討した避難経路を実際に歩いて確認してみる

地図だけではわからない情報もあるので、実際に歩いて確認しておくことが重要です。



3

避難路で注意事項があれば、マップにメモしておく

このマップの最も有効な活用法は、自分で調べた情報を書き加えることです。ちょっとしたことでも、どんどんメモをしていきましょう。



4

マップ裏面の記載情報を確認する



避難情報や防災情報の収集先、気象情報に関するなどが示されています。確認しておきましょう。

5

家族の緊急連絡先を記入し、防災マニュアルと一緒に保管

緊急時の集合場所や家族の連絡先などを記入しておき、いざというときに備えて「防災マニュアル」と一緒に分かりやすいところに保管しておきましょう。



今回は、総領町の平田英吉さんご家族にご協力いただきました。

「日ごろから防災意識を持ち、防災ツールをうまく活用し防災力を高めたいと思います」と平田さん



大津恵川 河川災害関連事業(完成)

豪雨時に流れを阻害していた橋の架け替えや撤去、
 屈曲部の是正、河川断面の拡幅などを行い、大雨による
 増水を安全に流せるようにしました。

路線名：一級河川江の川水系大津恵川
 延長：1.38 km
 事業費：約3億2,000万円
 事業期間：平成22～24年度



断面を阻害していた橋の架け替え

屈曲部の是正

災害関連緊急砂防事業(完成)

緊急的な対策として、人家などが直接被害を受けた
 箇所には砂防えん堤を整備し、不安定土砂などによる
 災害から下流の宅地や道路を保全しました。

事業概要：砂防堰堤 6基
 事業費：約6億9,000万円
 事業期間：平成22年度



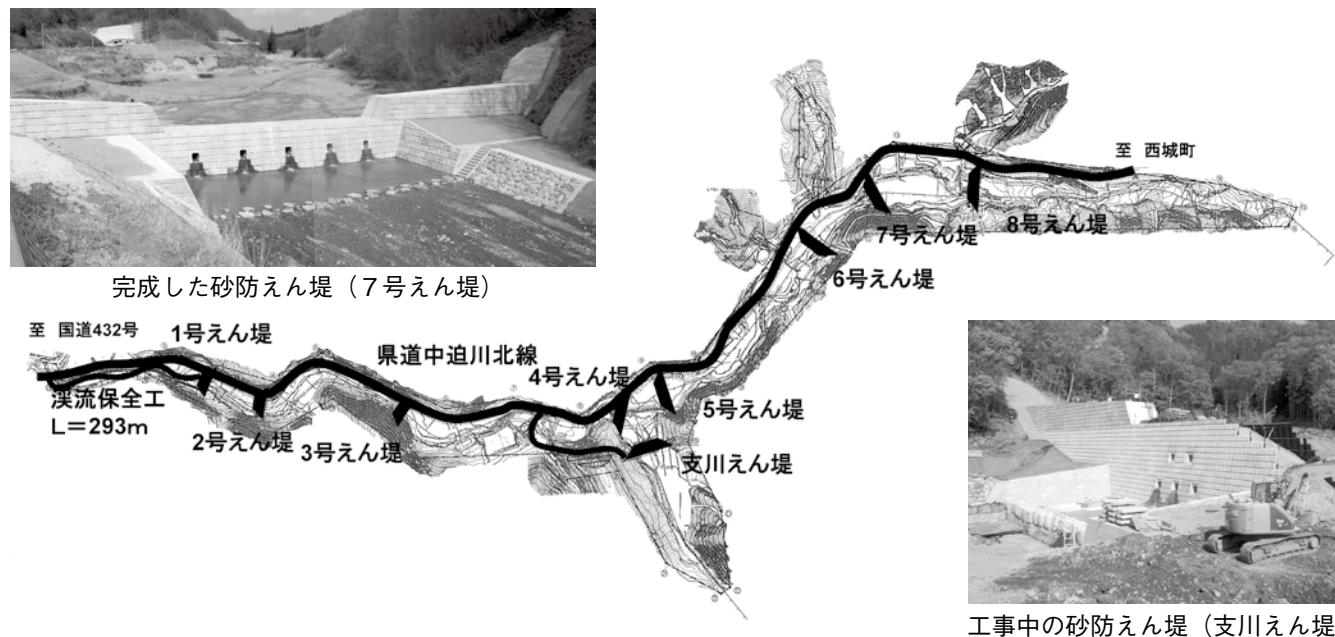
砂防えん堤の整備(先大戸川左支川)

砂防えん堤の整備(篠堂谷中右1)

篠堂川 砂防激甚災害対策特別緊急事業(事業中)

篠堂川流域で約10万㎡の土砂が流れ出る恐れがあり、この土砂が下流へ流れ出ることを防止するため
 9基の砂防えん堤を整備します。

河川名：一級河川江の川水系篠堂川
 事業概要：砂防えん堤9基
 渓流保全工293m
 事業期間：平成23～25年度



完成した砂防えん堤(7号えん堤)

工事中の砂防えん堤(支川えん堤)

庄原豪雨災害から3年

被災地区の復旧状況をお知らせします

広島県北部建設事務所庄原支所 ☎0824-72-2015

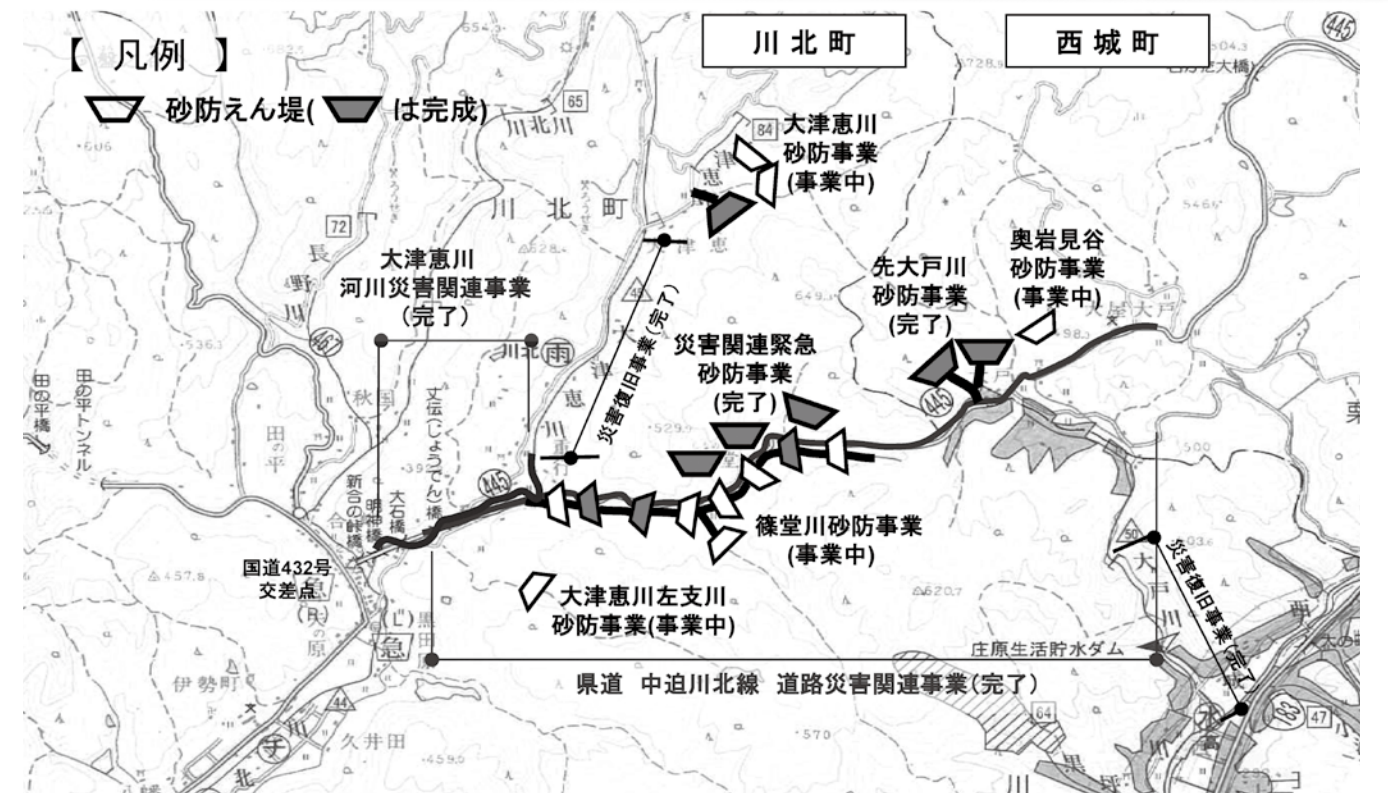
平成22年7月16日、庄原市川北町および西城町の一部の狭い範囲で局地的な集中豪雨が発生し、死者1人、重傷者1人、全壊家屋14戸、半壊14戸、一部損壊10戸のほか、道路、河川、農地に甚大な被害をもたらしました。この豪雨災害から間もなく3年が経過します。

この間広島県では、被災地区の早期復旧・復興に向けて、道路や河川といった土木施設の復旧や、土砂災害を防止する砂防えん堤などの整備に取り組んできました。

地元の皆様のご理解とご協力により、県道中迫川北線の道路災害関連事業や、大津恵川の河川災害関連事業などの工事を昨年度までに完了することができました。

篠堂川砂防激甚災害対策特別緊急事業などの事業中の箇所も、早期の完成を目指します。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

ここでは、庄原豪雨災害の主な災害復旧事業についてご紹介いたします。



県道中迫川北線 道路災害関連事業(完成)

豪雨で崩壊した道路斜面の復旧や、落石防止柵の設置といった災害対策工事と合わせて、1車線を2車線に拡げる拡幅工事を行いました。

路線名：一般県道中迫川北線
 延長：5.38 km
 事業費：約4億3,000万円
 事業期間：平成22～24年度



落石対策工事

道路の拡幅